ポーズをとっている少年たちの写真

中程度の精度で自動的に生成された説明グラフ

自動的に生成された説明グラフ, バブル チャート

自動的に生成された説明背景パターン

自動的に生成された説明

一年間よろしくお願いします！

保育士　　保育士　　保育士

保育士　　看護師

身近なものと関わり感性が育つ

　愛着関係が築けると、子どもはその人を拠点にどんどん離れ、自分の周りにあるものに興味や関心を持ち、見る・触れる・探索するなど、身近な環境に自ら関わろうとします。「モノ」との関わりでは、手を使って出し入れしたり、口に入れて確かめたり、叩いたり、転がしたりしながら偶然に出会う音を楽しんだり…。時には大人にとって困った行動になる場合もありますが、「ダメ」と先に言うのではなく、「どうしてここが気になるなのかな？」「なにをしているのかな？」と子どもの目線になって考えることで、今こんな力が育っているからこれをしているのか、と発達が見えてくるのです！子どもは今しかできない経験を通して、様々な力や考えを蓄えているのです！子どもの興味・関心に寄り添った保育をしていきたいと思います！

身近な人と気持ちが通じ合う

子どもと関わっていく中で一番大切なのは愛着です。0歳児は言葉で伝えられない分、泣いたり、笑ったり、様々な表情や喃語で、周りの人と気持ちを通わせようとします。泣いている時は「どうしたの？」と声を掛けたり、食事の際は「おいしいね」「もぐもぐ」など目と目を合わせながら声を掛けたりすることで、「この人は大丈夫」「理解してくれるひと」「心地よい人」となります。子どもの甘えや欲求を受け止め満たしていくことが愛着へと繋がっていくのです。子どもたちが今何を求めているのかを見極め、その思いに応えて行きながら、安心できる場所・安心できる人、つまりは信頼関係を築いていきたいと思います！

担任紹介

健やかに伸び伸びと育つ

子どもは探索活動を通して身近なモノと関わり、身近な人と通じ合っていきます。その関わりの中で「言葉」や「表現」などといった様々なことを獲得していきます。0歳児にとって出会うものすべてが初めてだらけのため、「これは何だろう」という好奇心から、自ら 見たい！ 触れたい！ 聞きたい！ など探索を通して自ら関わろうとする姿が見られます。でも、こうした姿が見られるのも信頼関係があってこそ！子どもたちの欲求や一人ひとりの思いを受け止め、のびのびと子どもたちが自分らしく成長できる環境を整えて行きたいと思います！

いよいよ保育園生活がスタートします！新しい環境、初めての場所・人で子どもたちは不安でいっぱいです。一人ひとりの生活リズムに配慮しながら、ゆったりとした雰囲気の中で「心地よい」と感じる関わりを心掛けていきたいと思います。

また、保護者の皆様も初めての入園・仕事復帰など不安でいっぱいのことと思いますが、どんな些細な事でも大丈夫ですのでいつでも担任に声をかけて下さい。これから1年間お子様の成長を一緒に見守りながら、共に喜び、お子様と楽しく子どもと向かい合っていけるような子育てをしていきましょう！

たくさんあそんで

おおきく育て！

よちよち組

4月